

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 10日

（報告先）  
横浜市長

住所 東京都中央区新川一丁目23番1号  
氏名 日清オイリオグループ株式会社  
代表取締役社長 久野 貴久  
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	日清オイリオグループ株式会社 代表取締役社長 久野 貴久			
事業者の主たる 事業所の所在地	〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号			
主たる事業の業種	大分類	E 製造業		
	中分類	09 食料品製造業		
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）		
	原油換算エネルギー使用量	43,469 k l	自動車の台数	台

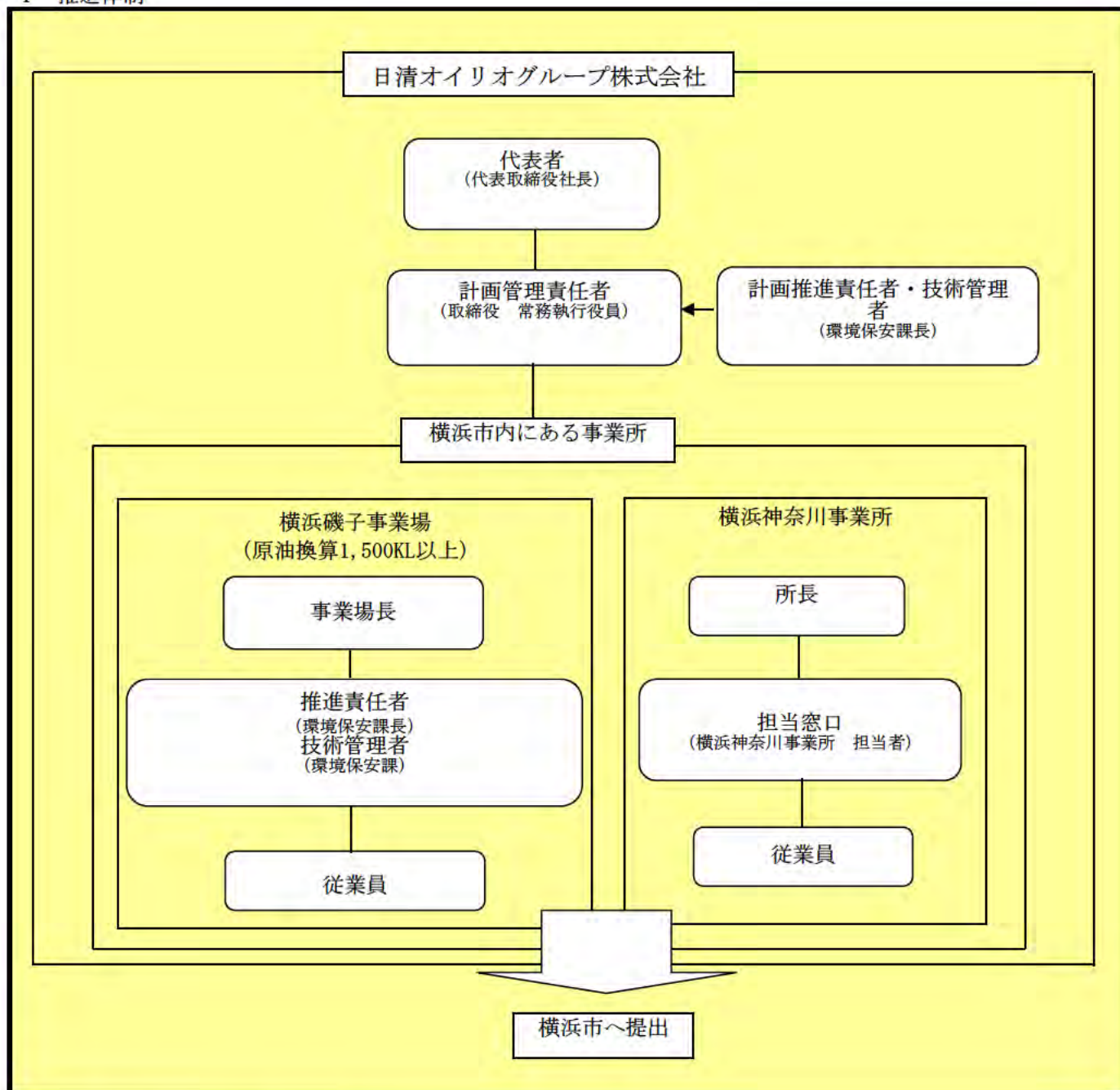
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ～	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境関連の法規制、自主基準を遵守します。</li> <li>●低炭素社会、資源循環型社会、自然共生社会の構築を目指した取り組みの推進に努めます。</li> <li>●「自然と環境にやさしい」商品・サービスの開発に努めます。</li> <li>●環境に関する自社活動情報の積極的な公開に努めます。</li> <li>●環境に対する意識を高め、全社一体となった取り組みの推進に努めます。</li> </ul> <p>○横浜市の計画書制度への対応として、対象拠点である横浜磯子事業場、神奈川事業所においては、計画期間を平成28年度から30年度とし、CO2排出量を3%削減する目標を設定し、対策に取り組んでいく。</p> <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 横浜磯子事業場 生産工程で発生する排熱の回収、高効率照明器具への更新等 神奈川事業所 高効率照明への転換、空調温度管理の徹底等</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 ・大気放出している熱を回収することによる熱効率の向上を図り、事務所等の電力削減を図るため、高効率照明器具への更新を行う。</p> <p>③設備更新スケジュール 平成28年から平成30年の間に熱回収設備の導入及び高効率照明器具の更新を行う。</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	横浜磯子事業場
	所在地	横浜市磯子区新森町1番地
	閲覧可能時間	09:00~16:00（土・日・祝日を除く）
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	83,958	t-CO <sub>2</sub>	/		基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	75,155	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	81,439	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	CO2排出量の削減を目的に、以下の目標を設定し取組を行う。 ・生産工程で発生する排熱の回収 ・高効率照明器具への更新 ・リーク診断による蒸気、エアールールの削減							
事業者全体としての目標等	弊社では、温室効果ガスの排出削減を図るため、生産工程（国内生産4拠点）での使用エネルギーにおいて2020年度に以下の目標を達成する（基準年度：1990年） ・生産活動における使用エネルギー量を20%削減、使用エネルギー原単位を15%削減 ・生産活動におけるCO2排出量を25%削減、CO2原単位を20%削減							
第一年度 (2016年度)	排出量	84,807	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.0 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	71,341	t-CO <sub>2</sub>	削減率	5.1 %		削減率	0.8 %
目標等の達成状況及び説明	省エネ改善の施策実施および成果（過年度実施の成果も含む） ・生産数量の増加に伴い累積で蒸気・電力使用量が増加 ・設備トラブル等による生産効率の低下 ・各工程で照明をLED照明へ更新 ・（横浜神奈川事業所）空調温度管理の徹底、必要箇所以外の消灯徹底							
第二年度 (2017年度)	排出量	83,784	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0.2 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	74,692	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0.6 %		削減率	3.0 %
目標等の達成状況及び説明	省エネ改善の施策実施および成果（過年度実施の成果も含む） ・生産数量の増加に伴い累積で蒸気・電力使用量が増加 ・各工程で照明をLED照明へ更新 ・（横浜神奈川事業所）空調温度管理の徹底、必要箇所以外の消灯徹底							
第三年度 (2018年度)	排出量	84,563	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 0.7 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	75,714	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 0.8 %		削減率	3.7 %
目標等の達成状況及び説明	省エネ改善の施策実施および成果（過年度実施の成果も含む） ・生産数量の増加に伴い累積で蒸気・電力使用量が増加 ・各工程で照明をLED照明へ更新 ・（横浜神奈川事業所）空調温度管理の徹底、必要箇所以外の消灯徹底							
計画期間全体の排出状況に関する説明	・生産数量の増加に伴い累積で蒸気・電力使用量が増加。また、原料が天産品のため、性状の変化によりエネルギー使用量が変動し、排出量も変動した。							

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方						
事業者全体としての目標等						
第一年度 (年度)	排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率
目標等の達成状況及び説明						
第二年度 (年度)	排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率
目標等の達成状況及び説明						
第三年度 (年度)	排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上	1	83,943	1	84,776	1	83,752	1	84,531
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	1	15	1	31	1	32	1	32
合計	2	83,958	2	84,807	2	83,784	2	84,563

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況					
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度				実施済	1/1	—	年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし			非該当	/	—	年度	地下駐車場なし			非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/2	—	2019年度	計画年度には完了しないため	LED照明に更新中		実施中	0/2	—	2019年度	計画年度には完了しないため	LED照明に更新中		実施中	0/2	—	2021年度	計画年度には完了しないため	LED照明に更新中	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度				実施済	2/2	—	年度			
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 20/20	—	年度				実施済	(設備の種類) 20/20	—	年度				実施済	(設備の種類) 20/20	—	年度			
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	空調冷凍機なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	空調冷凍機なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	空調冷凍機なし		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類) 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類) 3/3	—	年度			
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類) 3/3	—	年度				実施済	(設備の種類) 3/3	—	年度			
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 198/198	—	年度				実施済	(設備の種類) 198/198	—	年度				実施済	(設備の種類) 198/198	—	年度			
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉なし		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度				実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度				実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度			
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度				実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度				実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度			

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度											
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況						
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

（注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.93 %		84,563		16,225.2		15,436.6		789					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	廃熱回収設備導入	横浜磯子事業場	2014	ドレン回収タンクより、蒸気が大気放出されていた	産業用蒸気	6,318	GJ	379.1	廃熱回収設備、1基設備メンテナンスが簡単で省エネ効果が出ている	産業用蒸気	2,030	GJ	121.8	257.3	千円
2	高効率照明器具への更新	横浜磯子事業場	2015	水銀灯及び蛍光灯を使用	上記以外の買電	325,953	kWh	166.9	メタルハライドランプ及びLED照明器具に交換	上記以外の買電	59,515	kWh	30.5	136.4	千円
3	高効率照明器具への更新	横浜磯子事業場	2016	水銀灯及び蛍光灯を使用	上記以外の買電	152,156	kWh	77.9	メタルハライドランプ及びLED照明器具に交換	上記以外の買電	134,497	kWh	68.9	9.0	千円
4	高効率照明器具への更新	横浜磯子事業場	2017	水銀灯及び蛍光灯を使用	上記以外の買電	108,774	kWh	55.7	メタルハライドランプ及びLED照明器具に交換	上記以外の買電	40,518	kWh	20.7	34.9	千円
5	焼却場廃油燃焼装置自動化	横浜磯子事業場	2016	焼却場廃油燃焼量手動	都市ガス	6,755	千m3	15493.3	焼却場廃油燃焼装置自動化	都市ガス	6,613	千m3	15,167.4	325.9	千円
6	高効率照明器具への更新	横浜磯子事業場	2018	水銀灯及び蛍光灯を使用	上記以外の買電	102,182	kWh	52.3	LED照明器具に交換	上記以外の買電	53,330	kWh	27.3	25.0	千円

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	コージェネレーションシステム	2003年度	ソーラー社トーラス70S、定格7,830KW	8,756t-CO2
2	LED照明	2017年度	33W×180、27W×110 他	68,256kWh
3	LED照明	2018年度	55W×27、17W×72 他	48,852kWh
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜磯子事業場 横浜神奈川事業所	0	アーバンエナジー(株) (株)Loop、丸紅新電力(株)
2	高効率コージェネの利用	2018年度	横浜磯子事業場	8,849	総合効率88.7% 省エネ率38.3%
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物削減の取組み(ゼロエミッション(再資源化率99%以上)の継続)</li> <li>・物流における取組み(輸配送に係るエネルギー原単位の削減)</li> <li>・オフィス部門での紙ごみの排出量削減</li> <li>・ISO14001:2015年版の運用による環境対策</li> </ul>
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物関連(ゼロエミ継続、発生抑制や用途開発、有価物化による再資源化率向上等)</li> <li>・物流関連(輸送大ロット化、積載率向上、共同配送の実施、モーダルシフトの推進等)</li> <li>・オフィス関連(節電、省エネ活動、ペーパーレス化の推進)、マイカー通勤の抑制</li> <li>・ISO14001によるライフサイクルやパフォーマンス重視等を強化により、環境活動に貢献</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物関連(ゼロエミ継続(再資源化率100%達成)、生物汚泥廃棄物の有価物化)</li> <li>・物流関連(輸送大ロット化による輸送の効率化、汚破損や誤配・再配防止に向けた取組み)</li> <li>・オフィス関連(オフィスレイアウト変更等) ・マイカー通勤の抑制の継続</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物関連(ゼロエミ継続(再資源化率100%)、発生抑制や用途開発、有価物化による再資源化率向上等)</li> <li>・物流関連(共同配送の実施、モーダルシフトの推進等)</li> <li>・オフィス関連(節電、省エネ活動、ワークライフバランス～時短推進)</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物関連(ゼロエミ継続(再資源化率100%)、発生抑制や用途開発、有価物化による再資源化率向上等)</li> <li>・物流関連(共同配送の実施、モーダルシフトの推進等)</li> <li>・オフィス関連(節電、省エネ活動、ワークライフバランス～時短推進)</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気及びエア漏れ箇所の調査・改修を実施した。</li> <li>・事業場内ユーティリティの効率的運用を図った。</li> <li>・計画的に照明設備のLED化を継続した。今年度はタンクヤードを中心にLED化の推進を行った。</li> </ul>
--